

第15回男女共同参画フォーラム

参加者数：276名（都道府県医師会215名（除宮城県）、男113人、女163人）

日時：令和元年7月27日（土）（フォーラム） 午後1時30分～5時25分
（懇親会） 午後5時40分～

場所：仙台 勝山館 宮城県仙台市上杉2-1-50 TEL：022-213-9188

主催：日本医師会

担当：宮城県医師会

テーマ：男女共同参画のこれまでとこれから—さらなるステージへ—

【次第】

13:30	○開会 ○挨拶	総合司会：宮城県医師会常任理事 安藤由紀子 宮城県医師会副会長 橋本 省 日本師会会長 横倉 義武 宮城県医師会会長 佐藤 和宏 宮城県知事 村井 嘉浩
14:00～14:50	○基調講演 「酸化ストレス応答と健康長寿と介護」	座長：宮城県医師会副会長 橋本 省 講師：東北大学加齢医学研究所遺伝子発現制御分野 教授 本橋ほづみ
14:50	○報告	
1.	日本医師会男女共同参画委員会	日本医師会男女共同参画委員会委員長 小笠原真澄
2.	日本医師会女性医師支援センター事業	日本医師会常任理事 小玉 弘之
15:20	○シンポジウム	座長：宮城県女性医師支援センター長 高橋 克子 宮城県医師会常任理事 佐々木悦子 コメンテーター：日本医師会常任理事 今村 聡
1.	「“新専門医制度”に対していただく期待と不安～女性研修医と女子医学生の立場から～」	宮城県医師会常任理事 福與なおみ 東北大学病院初期研修医 2年目 横山日南子 東北大学医学部 6年生 岩田 彩加
2.	「医療界における男女共同参画は進んだか」	宮城県医師会女性医師支援センター長 高橋 克子
3.	「女性外科医の育成とワークシェア・ワークライフバランス」	自治医科大学附属さいたま医療センター副センター長 一般・消化器外科教授 力山 敏樹
	○総合討論	
17:15	○第15回男女共同参画フォーラム宣言採択	
17:20	○次期担当医師会会長挨拶	大分県医師会会長 近藤 稔
17:25	○閉会	宮城県医師会副会長 板橋 隆三

第15回 男女共同参画フォーラム 宣言

日本医師会男女共同参画フォーラムが平成17年に初めて開かれて以来、14年の活動で得た成果を基盤にし、医療においてもワークライフバランスが重要という意識を確信した。この活動のさらなる発展を図るために、男女を問わず医師の働き方改革を進めながら、国民の医療に大きく貢献できる段階へと進化させることを決意し、以下、宣言する。

- 一、多様な働き方を認め、男女を問わず豊かな医療人を育む
- 一、指導的立場の女性医師を増やし、2020.30運動の理念を医師会・大学・学会ともに連携して推し進め結果を出す
- 一、医師を目指すすべての人に対する、医育機関での公平で公正な対応を求める

令和元年7月27日

日本医師会第15回男女共同参画フォーラム